

はしがき

本報告書は、2013年度成城大学文芸学部の授業科目「量的社会調査実習」の成果報告書である。量的社会調査実習は、「社会調査士」資格課程の認定科目のなかで最終科目に位置づけられている。調査計画を立案・実施しデータ解析・結果の解釈を経て、報告書の形式で新たな知見と調査協力者への結果の公表をすることを目的としている。

2013年度は二つのテーマについて受講生5名が分担して調査を実施した。そこで本報告書では第一部を「健康意識に関する調査」、第二部を「大学生の語学に対する意識調査」の二部構成とした。

「健康意識に関する調査」では、痩身意識と個人特性に焦点を当てて文献収集を開始した。その過程で男性の痩身意識は女性とは異なり、女性ほど明確ではないことが明らかになった。また、女性の痩身意識は以前ほど強くないのではないかという疑問が起こり、それは、メディアが発信する情報が影響して人々の体型認識が変化しているという考えに至った。そこで皆が理想とする体型はその時のメディアに作られるものであり、多くの人はその理想よりも痩せ型を望むのではないかという問題意識から調査票を作成し調査を実施した。

「大学生の語学に対する意識調査」では、大学生の英語の取り組みと就職活動・仕事への態度を検討した。英語学習に関するこれまでの調査結果をもとに、「学ぶ」という行為を合理的行為として捉え、英語の習得自体が目的なのか、英語を習得することによってほかの何かを達成することが目的なのかという視点から英語の学習目的に関する項目を作成した。その上で、仕事に対する姿勢や英語への取り組み、英語の学習方法と学習目的をどのように関連づけているのかについて、性別、学年ごとに分析し検討を行なった。

「健康意識に関する調査」、「大学生の語学に対する意識調査」ともに、データの解析に際して、分析結果の解釈には細心の注意を施したつもりである。また、今回のテーマに対してそれぞれ課題を残したものの、調査目的に沿ってデータを解釈し考察できたと考える。

最後に、本調査に協力していただいた成城大学の学生のみなさまに感謝いたします。

2014年2月 鈴木 靖子

目 次

はしがき

健康意識に関する調査

個人特性と体型意識の関連

..... 石坂 恵美 (3)

他者との関わりによる男女の体型認識についての研究

.....赤池 萌夏 (12)

大学生の「ぽっちゃり」に対する認識とその背景

.....金山 聖実 (19)

資料

..... (27)

大学生の語学に対する意識調査

大学生の語学に対する意識と行動

.....熊谷 茉紀 (37)

大学生の英語学習と労働観について

..... 森 愛那 (46)

資料

..... (55)

執筆者一覧

..... (61)